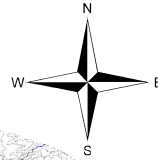


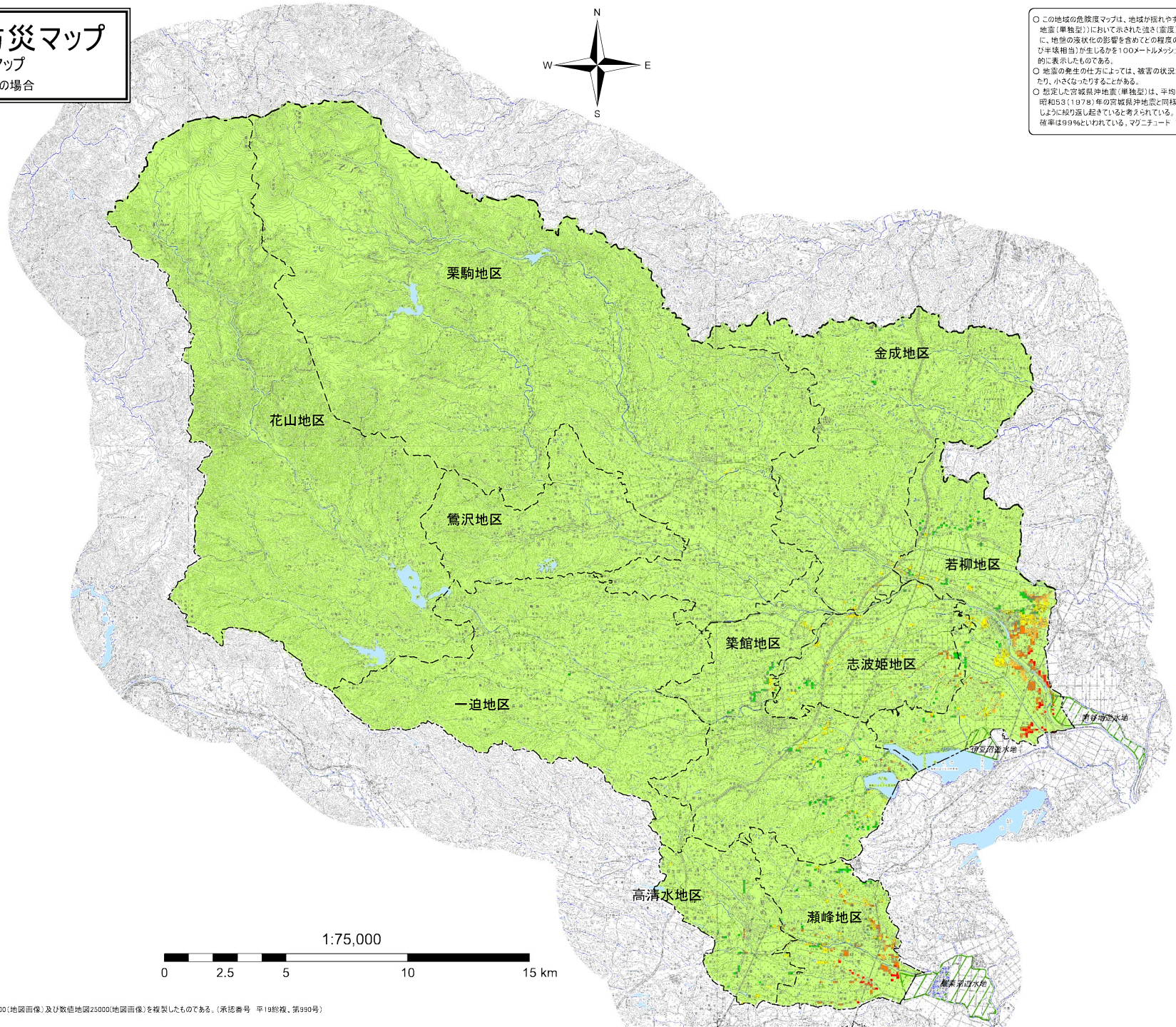
栗原市地震防災マップ

地域の危険度マップ

宮城県沖地震(単独型)の場合



○ この地域の危険度マップは、地域が揺れやすきマップ(宮城県沖地震(単独型))において示された強さ(震度)の揺れとなった場合に、地盤の液状化の影響を含めた程度の建物被害(全壊及び半壊相当)が生じるかを100メートルメッシュ毎に評価し、相対的に表示したものである。
○ 地震の発生仕方によっては、被害の状況がこれよりも大きくなったり、小さくなったりすることがある。
○ 想定した宮城県沖地震(単独型)は、平均すると37年に一度、昭和53(1978)年の宮城県沖地震と同様の場所と規模で同じように繰り返し起きると考えられている。今後30年間の発生確率は99%といわれている。マグニチュード 7.6 を想定している。



凡例

木造建築物の全半壊率

0~3%
3~5%
5~7%
7~10%
10~20%
20~30%
30%以上

